

市議団座談

福田明・鈴木やす子 両議員、新春に語る



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

おかげさまで本紙は09年も毎週欠かさず発行することができました。読者の方からの情報や写真の提供もひろがっています。ひきつづき本年もどうぞよろしくお願いたします。

今週は、新年号ということで、日本共産党の両市議に語ってもらいました。(司会は編集部)

◆09年をふりかえって

「司会」はじめに、昨年をふりかえってのお話からうかがいます。

「福田明・鈴木やす子」市

議選では、大変お世話になりました。

「福田」総選挙で

自公政権が歴史的な大敗を喫しました。この最大の力は「政治を変えよう」という国民の願いです。同時に、自民党政治と一貫して対決してきた日本共産党の果たした役割も大きいと感じました。

「鈴木」政権交代

で、お金の動きが変わってきました。また地方議会で請

願・陳情の採択率が上がっています。医療・福祉関連の予算が自治体はどう反映されるか注目していきたいと思えます。

「福田」民主党政権は「糸

の切れた風」のよう、国民の声になびいたり、大企業やアメリカの側にゆれたりしています

「鈴木」茨城県にも関わり

の深い八ッ場ダムの問題や、葉害肝炎・原爆被害者の救済など国民要求にこたえている点がある一方、マニフェストに掲げた後期高齢者医療制度の廃止や、沖繩の普天間基地の問題などは先送りになっています。

◆雇用対策は政治の責任

「司会」市内でも雇用状況が深刻だと聞きます。

「福田」派遣切りにあった人の相談が相次いでいます。多くは失業保険の受給が終わらず、現在は収入がまったくないという人たちが、みんななまじめな青年です。また、高校生の就職内定率は半分以上で、卒業した翌日から失業者。これは政治の責任です。

「鈴木」進学する青年も親

の収入を考慮して私立はあきらめる、授業料・生活費もバイトで工面するなど、大変な苦労をしています。先進国では教育への国庫負担も多く、義務教育はもちろんのこと、高等教育も無料化がすすんでいます。

「福田」歴史をつくってきた

のは人間であり、これからの国や地域をつくるのは子どもたちです。本来、教育と医療費は無料であるべきです。軍事予算などは大幅に減らして、人づくりに政治は本腰を入れて取り組むべきです。

「鈴木」企業に社会的責任

をはたさせるためにも労働者派遣法を抜本的に見直し、また国の根幹である第一次産業への投入や、新たな雇用創出のために福祉・医療、教育分野に国の予算を振り向けることがどうし

夏の参院選 茨城選挙区に 稲葉のぶとしさん



夏に予定されている参議選に日本共産党茨城県西部地区委員長稲葉のぶとし氏が立候補することを表明しました。

同氏は、いわき市出身、茨大工学部卒。

でも必要です。

◆今年も東奔西走

「司会」市政の動きと今年の抱負をうかがいます。

「福田」市政のキーワード

は2つです。新市立病院建設と少子化対策です。新病院は2013年の開院をめざして今年から動きが本格化するでしょう。地域に子どもたちの声が聞こえることが、お年寄りの元気の素にもなります。少子化対策は最大の高齢者対策です。ぜひ乳幼児医療費の無料化を拡充したいですね。

「鈴木」これからの病院の

あり方として、予防や介護との連携が必要と市議団では主張してきました。まちづくりの方向としても、市民の健康づくりが一番という街にしていきたいですね。

いつぼう、公立病院の新設・充実には、医師確保や予算措置を含め、国の医療政策の改革が必要です。国政の方向を住民生活にしっかりと軸をおいたものにするために、共産党の力を大きくしたいです。

「福田」今年寅年。フー

テンの寅さんを想い出します。「きれいな人に出会って一目ぼれ。ふられると旅に出る」とはいきませんが、せめて寅さんのように「庶民に愛される」議員として東奔西走してがんばります。

「鈴木」政権交代で「靖国

派」が打撃を受けました。でも、戦争する国へ憲法を変えようとする流れがなくなくなったわけはありません。雇用・くらしを守るため、そして平和を守るために皆さんと力を合わせていきたいと思えます。